

様式第3

会 議 録

会 議 名	平成 29 年度第 4 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 第 7 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定について ① 野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定に係る基礎的数値に関する考え方について ② 介護予防・生活支援サービスの多様なサービスの導入について ③ 第 7 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（素案）について
日 時	平成 29 年 12 月 5 日（火） 午後 1 時 31 分から午後 3 時 12 分まで
場 所	野田市保健センター 3 階大会議室
出席者氏名	会 長 金本 秀之 委 員 土田 隆司 秋田 茂 清水 明美 加藤 ナホ江 中村 賢 宇佐見 節子 篠田 恵美子 石原 和子 岩井 勝治 山崎 美紀 白島 智子 松本 恵美子 大用 菜穂子 平山 彰子 中村 綾子 鈴木 清 藤田 進 小松 栄 須賀田 貞彦 寺嶋 光子 妹尾 昭人 丸山 克俊
欠席委員氏名	委 員 渡辺 隆 藤井 愛子 筑井 正 古曳 孝明 三輪 秀民 山本 由紀子 渡邊 好男
事 務 局	今 村 繁（副市長） 富 山 克彦（保健福祉部長） 直 井 誠（保健福祉部次長兼高齢者支援課長） 山 下 敏也（保健福祉部次長兼介護保険課長） 根 本 一弘（生活支援課長） 小 林 智彦（障がい者支援課長） 小 島 信明（国保年金課長） 中 代 英夫（保健センター長） 善 方 浩子（高齢者支援課長補佐） 山 本 茂（高齢者支援課副主幹兼いきがい施設係長） 鈴 木 隆一郎（高齢者支援課高齢者支援係長） 山 崎 正浩（高齢者支援課主任主事） 鈴 木 佑治（高齢者支援課主任主事）

	井上 薫 (介護保険課主幹兼課長補佐) 宮崎 英雄 (介護保険課長補佐) 東風谷 一 (介護保険課介護予防係長) 中山 理恵 (介護保険課介護認定係長) 町田 長之 (介護保険課介護給付係長) 永島 徳子 (介護保険課地域包括支援センター主査) 山崎 正浩 (介護保険課地域包括支援センター主査) 衣川 陽子 (介護保険課介護予防係主査) 林 晋也 (介護保険課主事) 野口 舞子 (介護保険課主事補) 増子 隆志 (株式会社ぎょうせい課長) 加倉井 直毅 (株式会社ぎょうせい主査)
傍聴者	1名
非公開の事由	—
議事	平成 29 年度第 4 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果 (概要) は次のとおりです。
金本会長	平成 29 年 12 月 5 日 午後 1 時 30 分、開会を宣言 会議の成立について報告した。 会議録作成のための録音機を使用すること及び市報等に掲載するための写真を撮影することについて了解を得た。 会議の公開及び傍聴について説明した。
金本会長	議題 1 第 7 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定について 議題 1 について事務局から説明を受けた。 質問等を委員に問うた。
丸山委員	介護予防・生活支援サービス事業のニーズ調査と分析結果について。新しいサービスの必要性があることが認められているが、施策を講じるのは現実的ではないとあるのはなぜか。
保健福祉部長	野田市では新しいサービスを現在実施していないが、今後について、掛かる費用を踏まえながら、算出した結果である。
丸山委員	高齢化が進むに伴い、ニーズが増えることは自明であることから、野田市としてのアイデアや新規の制度を構築しても良いのではないか。
保健福祉部長	サービスの提供については、調査や当審議会での意見、各種サービス間の調整を踏まえ進めていく。

副市長	野田市では全事業の見直しを行っており、子育てを含む全事業・サービスとの兼ね合いを勘案するに、現状、介護予防・生活支援サービスの提供を考えていない。ただし、3年後の第8期計画策定の際には、状況の変化により対応を要することも考えられる。
丸山委員	事務局の説明に了解した。ただし、資料の書きぶりについて、サービスを提供する施策を講じることを、現実的でないと書き切ってしまうのは、問題である。
副市長	書きぶりについては御指摘のとおり。今後、修正を検討する。
金本会長	他に意見を問うた。
白島委員	介護人材不足に対する対応の説明がないが、そこをどう考えているのか。
保健福祉部次長兼高齢者支援課長	介護サービスに携わる職員の不足は認識している。その施策については、素案第5章に記載しており、研修支援事業や人材マッチング事業の実施などを盛り込んでいる。
白島委員	<p>研修支援事業について、事業に結び付くのか疑問。また、介護人材マッチングはうまくいけば良いが、問題はもっと大きいと考えている。</p> <p>昔に比べると職員募集に対する反応が鈍く、また募集に掛かるコストも大きい。</p> <p>介護を支える側の課題を解決するには、子育てに関する課題とともに、行政だけではなく市全体で支えていく必要があると考えており、これからも訴えていきたい。</p> <p>また、第7期計画については、行政任せではなく、委員の皆さんと一緒に協議していきたい。</p>
金本会長	他に意見を問うた。
宇佐見委員	介護保険制度に頼らず、地域での支え合いや自分で解決しようとするのが大切だと考えており、社会福祉協議会では、そのような活動を進めている。
金本会長	他に意見を問うた。
山崎委員	施設の現状について。介護人材不足が課題。派遣業者を通して職員を採用しているが定着せず、採用コストだけがかさ

<p>金本会長</p>	<p>んでおり、施設などのハード面の問題より深刻である。        特に特養の看護師の確保が難しい。        施設を建てることは良いが、待機者が減っている状況の中、職員不足に対する課題解決が求められると考える。</p> <p>医療、介護の現場が疲弊している現状があり、それが離職につながっている。        課題解決のために、多職種連携を広げ、みんなで支えあう環境づくりを進めているがまだ足りていない。        この委員会では、介護保険制度以外でも何かやれることを協議する場でもあるので、委員の皆さんにはできることを考えて、提案をいただきたい。</p>
<p>丸山委員</p>	<p>健康寿命の長短は、自治体行政によって差異が如実に出る。例えば、東京理科大学及び学生との連携や、介護専門学校を誘致するなどの工夫ができないか。        簡単ではないが、自治体独自の工夫が必要とされており、行政や委員の皆さんには真剣に考えて意見を出してほしい。</p>
<p>金本会長</p>	<p>他に意見を問うた。</p>
<p>岩井委員</p>	<p>学校教育で、介護の仕事の重要性を教育することはできないか。        施設では高校生に対する学費支援を企画・実施しているが、興味を持たれないので、野田市独自に学校教育で介護の仕事の重要性を教育するのはどうか。        その他、人口推計と認定者数の推移について、介護認定者がこれだけ増えているというのは、実感として感じられない。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>国のワークシートに実績を入力することにより導き出される数値であり、各市町村が使用しているものである。</p>
<p>副市長</p>	<p>確かに多いと感じられるが、国が安全を見ているものと考えられる。        学校教育については、教育委員会に意見があったことは伝える。        また、新たな発想で施策を展開しなくてはいけないことは認識しており、努力していきたい。</p>
<p>金本会長</p>	<p>他に意見を問うた。</p>
<p>白島委員</p>	<p>特養の建設要請は慎重に検討していただきたい。サ高住が</p>

	<p>増加していることの兼ね合いから、施設間で介護の担い手の取り合いになることが危惧されるため。</p>
金本会長	<p>利用希望者が特養に申し込む際に、窓口を一つにできないか検討してほしい。</p>
加藤委員	<p>その他、委員の皆さんからの意見をもっと欲しい。 シルバーリハビリ体操を市民に普及することに関して、指導員のみで行うことは難しく、行政側から場所を提供いただくなどの協力は難しいのか。</p>
丸山委員	<p>行政で普及のためのガイドを作成し、公民館などの公共施設を借りやすくすれば良いのではないのか。</p>
事務局	<p>介護予防の観点から、体操の普及方法などを含めた形で、指導員・ボランティアが主体的になって進めていただきたいと考えている。</p>
副市長	<p>市民主体で普及していただきたいが、行政としても後方から支援していくつもりである。</p>
金本会長	<p>他に意見を問うた。</p>
須賀田委員	<p>老人会での集まりを相当数持っているのので、そこでシルバーリハビリ体操を組み入れてほしい。 実際に指導員を呼んで、組み入れている集まりもある。取り組む機会は多くあるので、積極的に声を掛けてほしい。</p>
金本会長	<p>議題1について、了承の可否を問うた。 委員から異議なし。 事務局にその他の説明を求める。</p>
介護保険課長	<p>パブリック・コメント手続の実施について説明 その他、次回推進等委員会が1月24日に行われる予定であることを説明</p>
藤田委員	<p>素案において、パブリック・コメント手続が完了したものとして表現されている点について説明を求む。</p>
介護保険課長	<p>パブリック・コメント手続の際は、当該箇所を修正する。</p>
金本会長	<p>午後3時12分、閉会を宣言</p>